



「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っている。

発行：誇りと夢・まちづくり日新広報部会  
文京5-1-8 日新公民館  
発行日：2010年7月20日

日新  
荷日新 荷に日に新たに  
日日新 日々新たに  
又日新 又日に新たなり  
出典 「大学」

# ゆめ にっしん

## 地区行事から

### 藤島中「立志式」を参観して・3月19日

昨年は左内没後150年、ということで県内各地で多様な行事が開催されたが、毎年、福井市内中学校の多くで取り組んでいる行事に立志式がある。

3月19日、藤島中学校の「立志式」を参観した。玄関入り口には「立志式」の立て看板、会場体育館には2年生5クラス全員145名の「私の三訓」が掲示され(苦手なことでも挑戦する。問題から逃げない。失敗を恐れずにチャレンジする。等々...)また、壇上には「学生年五訓」が大きく貼り出され、全員唱和。

- 1.互いに支え合い高めよう
- 1.可能性を信じて努力する
- 1.自分に厳しく人に優しくする
- 1.積極的に自分を表現する

1.周りの人に感謝する

そして、1年生と保護者が見守るなか、ビデオで「私の啓発録」を発表。先輩からの激励の言葉あり、保護者からのメッセージあり……。生徒一人ひとりが生かされ、学校と地域が一つになった「立志式」に感動した。

「橋本左内先生」はこの「日新」にも生きている。生誕地は春山2丁目にあり、左内公園には菩提寺が、東京荒川区には「墓旧套(さや)堂」が。また「橋本左内」「啓発録」は書店にも、図書館にも。昨年、市郷土歴史博物館は小冊子「やさしい けいはつろく 啓発録」を発刊した。無償。



整然と行われた立志式



## この人に聞く 地区のなりたち(その4)

中川幾一郎さん(84) 文京5



### 「六者会議その2」

六者会議は、精力的に会合を重ねて町内連合会の組織づくりや公民館建設、校下諸団体の規約づくり、役員候補者選考なども話し合い、地区誕生の「実務」に取り掛かった。牧里婦人会、文里婦人会、青少年育成会、体育振興会、交通安全推進協議会、日新婦人会、小学校PTA設立準備会などが3月中に立ち上がったのは、「六者会議」の成果と言えるだろう。

この無償の地区づくりに汗を流したメンバー有志による懇親会がきむら魚店(乾徳3丁目)で随時たれるようになり、竹内義雄幹事の忠実(ママ)さに支えられ、平等に自腹を切って催され、持続した。日新地区の融和に有用であったし、個人的にも楽しんだ。

今は亡き斉藤強氏や竹内義雄氏らに深謝。

当時はメモした中川年表

75. 3. 2	日新地区連合会(西新公園前) 802号
75. 3. 2	大学5-6丁目 文京5-6丁目
75. 3. 2	日新地区公民館
75. 3. 2	市立藤島中学校
75. 3. 2	市立藤島小学校
75. 3. 2	日新地区PTA
75. 3. 2	日新地区連合会(西新公園前) 802号

## わがまち匠



### デコパージュの魅力

坪川美智代さん(53) 文京6  
(アメリカンハンディクラフト協会講師)

デコパージュは、フランス語のDecoupage(切り抜く)を語源とする言葉で、絵や模様などを切り抜き独自の技法でさまざまなものの表面に美しく貼り付けるアートです。絵画やイラストなどの印刷物を、紙粘土を用いて絵を立体的に仕上げたり、複数枚重ね合わせて立体的に表現したりと、いろいろな技法があります。

絵が苦手な人でもイラストやプリントがあれば自分だけのオリジナルな作品ができるのも魅力です。

平面にも立体にも作れ、その組み合わせでどんどん変化していく面白さに夢中です。



思い出の絵本がこんな形に化身



フラワーフェアリーの世界



フォーリーホビーの作品から

## 日新春秋

「歩けるまちづくり」と「住まい」

文京5丁目 桜井康宏

福井市の都市ビジョンでは「人と文化をむすぶ歩けるまち」を目指していると聞いています。自動車型都市と違ってしまった福井市にとっては大らかな方向転換であり良い目標だと思っています。私の趣味は「まち歩き」でどこに行っても地図を片手に気ままに歩き回って何かを感じたり発見したりすることが大好きです。その経験を冊子で思うのは、「まち」の建物の大半は住宅(住まい)であり、それが表情豊かで住人の暮らしが感じられること、その住人に是非とも会ってみたいくなるような個性豊かな「住まい」が次から次へと出てくること、これが「まち歩き」の最大の楽しさだと思います。かつての日本の住宅には土間や縁側など「まち」に開かれた空間があり、そこが人々のコミュニケーションの場となり、それが路地りに溢れ出して「まち」の空気感となっていました。近年の住宅はプライバシー意識するあまり、閉鎖的で「まち」の関わりを失いつつあるように思います。まずは自分の住宅を見直し、「住まい」を「まち」に開くことから「まちづくり」に取り組むこと、大事なことではないかと考えています。

(福井大学教授)



**文里地区 林家**  
5人家族です。長男尚樹(2年生)は夏祭りの太鼓を頑張っています。長女夏希(3歳)は毎日元気に保育園へ。それぞれ元気に頑張っている林家です。



**堀ノ宮地区 川岸家**  
4世代5人家族です。玉樹くん(3歳)を中心に毎日にぎやかに過ごしています。何といたってもお気に入り。家の前の西藤公園、我が家の庭と称してまへす。

**乾徳地区 杉本家**  
4月に旧「ボンジュール乾徳」さんの場所に引っ越してきました。今は夫婦で「ふあんふあんふあーむ」というお総菜屋をしています。私たちは1歳になった息子がいます。家族3人仲良くがんばっています。よろしくお祈りします。



はなのまち



「上里のポケットパーク」  
上里第1・第2自治会女性16名(上里トライアングル)の方々のお世話で いつもステキな花のスポットに !!

「四ヶ用水」 — 田んぼの下にパイプライン —

八ツ島2号踏み切り近くを通り八ツ島に入っている四ヶ用水は、藩政時代1861年(文久元年)に掘られ、八ツ島、堀ノ宮、三郎丸、西堀の田畑用であった。が今は八ツ島だけ。藤島中の南に広がる田んぼの水を一手に引き受けている。もともとこの地は低く湿田。そこで日野川改修のときに発生した残土を運び入れ、約1メートル盛り土し、大型田んぼに再整備した。「水確保」のため、四ヶ用水の水を堰止めて水を溜め、ポンプ加圧して各水田に水を送るパイプライン用水とした。このため田んぼごとに給水栓がある。



給水栓



堰止められた四ヶ用水

費用は約1.2億円。地元負担は4割だったという。毎年維持管理費を支払っているとのこと。  
(石川尚治さん、高橋定信さんに聞く)

底喰川 その1 今なぜ底喰川 — 平成10年頃 —

日新地区を南北に二分して流れる底喰川。あまりにも汚なかった。川は改修途上で土砂はいたるところに堆積して、中州あり、中島あり、水の流れを変え、水は淀んでいた。

この川は福井市東部地域の田んぼの落とし水・排水用で、「浄水」を期待することは無理であるが、生活廃水も多く流入して川は臭う。川面には粗大ごみがニョキニョキ、使用済み日常生活品の廃棄物は川底に沈下して汚泥となり悪臭を発生、周辺道路を散策すると悪臭はどぶくさい。

底喰川のごうした実状は日新地域のイメージ悪しとなった。

この川を何とかできないか。きれいにできないか。当時のまちづくりテーマ「人にやさしい福祉のまちづくり」は泣いていた。



誇りと夢・わがまち創造事業 22年度計画

**交通** 「福井市地域コミュニティバス運行支援事業」に連動して新部会が発足しました。

- ☆コミュニティバス運行計画事業策定
- ☆コミュニティバス先進地視察
- ☆アンケートによる住民の意向調査と要望の集計

**文化** ☆秋の七草観賞とお月見だんごづくり

- ☆ふるさとの歴史を学ぶ
  - ①講演会「幕末の福井藩で活躍した人物について」
  - ②えちぜん鉄道で城下町大野への見学
- ☆底喰川ふれあいウォーク (公民館まつり前日祭)
- ☆かるたと百人一首大会

**環境** ☆館外の環境に関連する施設見学と環境知識の習得

- ☆環境学習会 地球温暖化防止に自分たちができることを考える
- ☆ものづくり体験 子どもたちを中心に廃物を利用して道具を手作りする

**広報** ☆定例清掃、クリーン作戦(一斉清掃)

- ☆ゆめ・にしんの発行(年4回)
- ☆NPOのためのパソコン講習会に出席
- ☆まちづくり交流会
- ☆ホームページ更新の研修会



輝いています!

日新小西側の横断幕

**梅井 翔さん(大宮6)**  
8月に沖縄で開催されるインターハイに、丸岡高校サッカー部は見事福井県代表として出場を決めました。その中でも地元出身の梅井君は家族の温かい応援に生まれ、キャプテンとして頑張っ輝いています。目指すはインターハイベスト8入り!後輩の日新FCのメンバーは誇りに思っていることでしょう。そして地区民はみんなでも声援を送ります。兄、大輝君の背中を追う翔君、頑張って!!!



**農口拓弥くん(文京5)**  
全国小学生ABCバドミントン大会に出場!5月の県予選会で4年男子の代表として8月の全国大会(熊本県)への出場が決まった。1年生の時から姉が所属する金井学園ジュニアチームで始めたバドミントンがメキメキ上達し今回の快挙に。大会での躍進を皆で応援しましょう!!!